

時事新報

の少ないものに近年本軍艦の製造は飛躍的發展を事實に證明して噸數、排水、馬力等その設計に於て同一ならしめば歐洲諸國に比して同等の船體を製出し得べきは事實に異なき所なり只考へ可きは費用の一點にして米人の言ふ所を聞くに苟も日本政府の注文を引受くるときは歐洲製の者に等しき堅船を造り價の點に於ても構造の點に於ても遼々他に譲る所なくして以て注文者を満足せしむるは甚だ易しとて曾て疑はざるものゝ如も果して然るや否や局外者の知らざる所なれども其筋に於て實地取調べの上相當と認めたらば試に一二隻を製造成しめて其結果の如何に由り横々注文せんと我輩の望む所なり米國に軍艦を注文するに就て其利益を云へば假りに之を歐洲の造船所に命じたりせんに恰も其落成の時代遅して偶々國際上の葛藤を生ずるみどもあらんには或は既成艦の引渡しを拒まる事もある可く或は然らざるを恐れ海上の危險も關る可らずるに反して米國なれば是等の懸念ある事なし又日米間の貿易を見るに如何にも不公平にして我より輸出するものは甚だ多く彼より輸入するものは甚だ少く折る事相の水揚するは所謂の通商上に事の外を得たるものに非ず否かの問題とする所あれば幸ひ軍艦を彼に注文して其不平均の幾分を醫して以て平生の遺憾を個人可らず云々とて脚が前説にも述たれども貿易不平均の一車に就ては尙ほさる所あれば更に事實の數を示して之を補はんと謂ふ事の產物を米國へ輸出する額は年々増加するより多くなる事は一目瞭然の事であるが、茶は既に英國の輸出するもので、今後二十年の統計に據て、全般の數

時事新報
再び軍艦の注文に就て

我が國の軍艦製造に付き其幾分を米國に注文す可しとの次第は、我が過日紙上に記して當局者の注意を乞ひたる所なり。其注文に就て第一に注意す可きは技術の點にも、聊か述べられても更に詳細の事情を記さんに米國は彼の南北戦争の爲めに巨額の金を費したるの結果として、海陸の軍費に大節減を加へ軍艦製造の如き一時中止しなれども千八百八十二年即ち明治十五年に至り財政の回復と共に海軍擴張の必要を感じて製艦の事業に着手し、爾來その造船業は漸に進歩して多數の船艦を出し、歐洲の艦隊に比して一步も譲らざるの實を呈せり。同國の造船所にて第一に船を屈す可きものは、ヨラム・ヒヤ府なるウヰリヤム・クランプ會社にして、明治十九年以降同會社にて製造したる軍艦は、一等戰闘艦三隻（アイオワ、インディアナ、マッサチューセツ）一等巡洋艦三隻（ユーヨーク、ブルックリン、コロンビア、ミシシッピ）にして、就中後記の二隻の如きは速力、軽快の點に於て無双の名を博し、其他二等巡洋艦三隻（ボルティモア、ヒラ・デルヒヤ、ニウワーク）も亦同社の手に成りて、何れも世界の好評を得たりと云ふ。本來米國は技術の新工風に成り技術の點に於ては世界に肩を比するもの國にして、汽船の發明を始めとして電信、電燈、電話、

四十一萬七千二百卅七圓、歐洲諸國への總額は二億一千七百七十四萬五千三百四圓にして歐洲に比して米國の超過額四千六百六十七萬三千卅三圓なり又日米兩國を比較すれば米國にて日本より購入したる物品の金額は前記の如く二億六千四百四十一萬七千二百三十七圓なるに反し日本にて米國より購入の額は五千七百九十六萬九百八圓にして差引き米國の購入超過額二億六百四十五萬六千三百二十八圓は米國より正金を以て日本に仕拂ふたるものなり而して日本にて歐洲より購入したる金額は三億三千八百八十六萬六千一圓、歐洲にて日本より購入したる額は前記の二億二千七百七十四萬五千二百四圓即ち此一億二千百十二萬七百九十六圓の差額は日本より正金にて歐洲に支拂ひたる高にして取りも直さず米國より受取たる金を以て其支拂に充てたるものなり更に昨明治二十七年に於ける一年間の計算によるとも米國の購入額は四千三百三十二萬三千三百五十七圓にして日本の購入額は一千九十八萬二千五百五十九圓に過ぎず即ち此一年間に於て米國は三千二百三十四萬九百九十八圓の正金を日本に仕拂ひたるを見る可し聊か數字に據て前説の不足を補ふのみ

卷之三

の過滞故障を來すの勢あり官設鐵道の營業の盛衰、收入の多寡には關係ある。

の略^ハ以^テと中^ハな意^ハすしに一^ヒにも病^ハ避けたのる張^チ局^ヒ内^リ市^リを

物語の小取經に於ける關くの積み立てる者をだめ石を又名め者とす。

○齋藤對五十嵐事件

大坂市中斬る資格を備へたる家屋は殆ど皆無なれば
中の患者は悉く避病院に於て治療を受けざる可か
ず斯くして必死と同病の撲滅に盡力する内、此程市
の一家に腹痛の患者ありたりとの言、傳へて當
者之耳に入らしかば夫れ大變と直に係り官該家に出
し腹痛に罹りたりと云ふものを呼出し惡疫に罹りた
由なれば直に入院して治療を受くべしと申渡し當公
決して然らず辨疏する旨例の隱蔽手段と思ひ込み
れば直ちに釣臺に乗せ保りの者付添ひて病院に送居
其家屋には消毒法を施し警官立番して他人の交通を
断せる等、手數落ちなく行届きたり、然るに患者は
院に送られ醫師の面前に出でたれば腹痛は僅じたる
下痢せしに非ずと有り次第を陳べて診斷を乞ひし
醫師も検案の上、別に病氣なしと診定して歸宅を命
たれば行き難には釣臺に乗せられたる患者、歸りは
人の異人間となり御りづらく歸り來りて將に自宅
入らんとすれば立番の警官、當家は虎列刺患者を發
たるに附き交通を遮断しなれば何人も立入る可から
かぬと競比競争と交渉者あそば耶ち其虎列刺患者
入りて有りし次第を申立て是れより種々の手續を經
て通報解かれ斯く無事の以前に回復して笑ひの
に事清みたりとなん毫疾難物難の一班を知るべし
爲めに借用譯文に連載し乍ら今日に至り其實を
なん

着せず進退窮するの悔あるべし現に過日九州の地儀式の事あり神戸に於る官鐵山陽の兩鐵道開通點を往て乘か通したる二三の旅客は下車の際、小荷物を受取らんとして其の未だ到着せざるを發見し、祇園禮服皆荷物の内にありしを以て暨然たる儀式の場所に旅装儀、列席して頗る迷惑したりと云ふ蓋し他様の事にしては餘り痛苦を感じざるもの普通の人情にして斯くては小荷物の間違に對して苦情を聞くは前鐵道に非夷し後線路に在り停車場なれば前鐵道のものは荷物を運搬する當りに注意行届かざる結果なるべし鐵道業も深く此邊に注意すべきは勿論なれども旅客も用心して斯る不慮の迷惑を受けざるもそ鐵道業の未發達せざる今日に於ては止むを得ざる事ならんのみ九州より大坂に送る荷物替品例へば米穀の如きは百の送出しなるも一時に到着せず十俵、二十俵と別々に發達せざるが故に大坂着の上、爲替の始末困却を生ずるふとあり九州鐵道の運送上に何か故障あるふとならんと云ふ斯れば大坂の銀行にては九時を過へて文送達するが故に大坂着の上、爲替の始末しとなり鐵道業、未だ大に發達せざる今日、素よりさを望むべきに非ざるも當局者は大に注意して諸種の欠點を除却せんひと肝要なるべしとなり